

一般会計など各会計補正予算5件を可決

今回の一般会計補正予算（第5号）は、▽国分南地区および本郷地区で確認された特殊地下壕の埋め戻し工事▽今泉小学校の児童数増加による新校舎の設計業務▽ふるさと納税の寄付額が想定以上に増額したことへの対応▽台風15号の被害を受けた農家に対する補助金の交付▽厚木駅南地区市街地再開発事業に年度内に着手できる見込みが立ったことによる増額—などの内容です。一般会計など4件の補正予算は、それぞれ所管の常任委員会に付託され、定例会最終日12月20日の本会議で原案可決され、下水道事業会計補正予算は提案された12月4日に原案可決されました。ここでは各常任委員会での主な審査内容を紹介します。

総務常任委員会

問 防災対策事業費の特殊地下壕埋め戻し工事について、小学校の通学路への配慮について伺います。

答 朝の通学時間に影響がないように、工事開始時間は、午前9時からとしています。また学校長やPTAに工事箇所を説明し、工事現場に近い箇所については、通学路を変更していただいている状況です。

問 工事などで確認できた特殊地下壕の写真など今後生かしていく予定があるか伺います。

答 さきの戦争の記録として重要なものと認識しています。必要な部署に資料を提供するとともに、記録を生かせるように生かせるよう永年に保存したいと考えています。

問 予備費について、補正となった理由を伺います。

答 予備費を用いて台風19号の被害に伴う緊急工事などを実施しています。今後も新たな災害などに備え、一定額の予備費を確保するため補正を行うものです。

問 東京オリンピック・パラリンピック普及事業費の詳細について伺います。

答 今回の補正予算は、本市が東京2020オリンピックの聖火リレーの通過市に決定したことから、大会の機運醸成や普及啓発を図るための経費です。具体的には、市内各所にのぼり旗や懸垂幕、横断幕を設置するための予算を計上するものです。

文教社会常任委員会

問 今泉小学校の校舎増築計画について、今後の児童増加見込み数と校舎増築の設計内容について伺います。

答 児童数は、令和12年に最大で1500名を見込んでいます。現時点では令和4年4月の使用開始を目指して、普通教室では15教室、特別教室で5教室程度の増築を計画しています。

問 国分尼寺跡の用地買収後の活用について伺います。

答 現在、地元自治会のレクリエーションや防災訓練、商業活性化事業として朝市の開催などを行っています。今後も市の財政状況なども見ながら、整備内容や活用についても検討を進めていきたいと考えています。

問 障がい者自立支援事業費の増額理由を伺います。

答 主に、放課後等デイサービス事業、共同生活援助事業、就労継続支援事業による増額となっています。

問 門沢橋保育園給食調理業務委託について、委託後の人員体制と、食育への影響について伺います。

答 現在1日3名で調理業務を行っており、委託後も、正規職員2名、非常勤調理師1名の3名で行いたいと考えています。食育については、園児たちに園庭で育て収穫した野菜を見せながらクイズを出すなど、食に対する興味を持たせる工夫をしています。委託にかわっても、こうした取り組みは継続して行う予定です。

経済建設常任委員会

問 ふるさと納税関連の予算を増額する理由を伺います。

答 常磐自動車道で起きたあおり運転の事件以後ドライブレコーダーの申込みが増加したことや、新規のポータルサイトを入れたことにより寄付額などが増額したためです。

問 台風15号の被害を受けた農業施設に対する補助の内容について伺います。

答 農業施設の復旧または倒壊した農業施設やがれきの撤去にかかる費用の補助を行うものです。該当する施設は野菜温室、花卉のガラス温室、酪農の堆肥舎などです。

問 厚木駅南地区再開発事業に係る補正内容を伺います。

答 組合が認可され権利者の調整が順調に進められたこともあり、移転補償や解体除却などの工事も年度内に着手できる見込みが立ったので対象予算を増額補正し事業の早期推進を図ります。

問 住宅耐震改修等事業費を減額する理由を伺います。

答 マンションの管理組合に耐震診断の実施に向けた働きかけを行いました。組合内で合意が得られなかったことや、住宅の耐震診断や工事の申請が当初の見込みよりも少なかったことが主な理由です。

問 都市排水路維持管理費について、今後の工事スケジュールの詳細を伺います。

答 台風15号による倒木の影響で、排水路のり面が少し削られ、崩壊を防止するための応急的な復旧を行いました。今後、具体的な補強工事を行うための設計を委託したいと考えています。



再開発事業の完成イメージ図